

2006年度LOMの元気活性委員会事業報告書

LOMインフラ室 室長 中垣 功
LOMの元気活性委員会 委員長 佐藤大輔

1. 委員会開催日 (17回)

1 / 17 2 / 15 3 / 14 4 / 6 4 / 26 5 / 9 6 / 26 7 / 19 8 / 4
8 / 22 8 / 29 9 / 8 10 / 5 10 / 26 11 / 6 11 / 28 12 / 22

2. 事業報告

例会の担当

7月8日	クリスマス家族会(12月例会)の担当	1
2月3日	LOMの元気活性に関する事業	
4月8日	卒業生記念品の選定	1
2月3日	サマーコンファレンス(横浜)の担当	7月20日~7月23日
	全国大会(郡山)の担当	10月5日~10月8日
	西尾張6JCじゃがいもの主管	5月23日
	西大田青年会議所の担当	中止 わ
	んぱく相撲 海部津島場所(5月例会)への参画	5月27日
	JCデー(8月例会)への参画	8月27日
	わんぱく相撲 愛知ブロック大会への参画	6月18日
	新入会員拡大の担当	通年

3. 委員会メンバー

佐藤大輔 鬼木亜加子 清水敬介 児玉清二 柴田大輔 清水敬裕 宇治谷祐司 平田義人

4. 反省点及び申し送り事項

4月事業ではメンバー間で苦楽を共にする体験の中で信頼関係を築くことができ、メンバーの真摯に取り組む姿と思いをひとつに集中した事で大きな達成感が得られました。7月例会では「一致団結してひとつの目標に向かう」という趣旨のもとで元気溢れる交流が行えました。また、家族の参加で懇親や家族間交流を行い、JC活動に理解を深めて頂く良い機会だったと思います。しかし家族が進んで参加したくなるような設営、気配りに配慮することで、一層充実したものに出来ると感じました。今後は公益性を意識したクリスマス家族会のあり方を検討する必要があると思います。

1年間を通して各例会、各種大会式典などのアナウンスに関して参加して頂く内容や事業に対する意味合いをしっかりと伝える事で、メンバーの気概も増幅していきLOMの活性が、より大きな力として効果が出るという事を申し送りさせていただきます。

5. 委員長所見

1年間をかけてLOMの元気活性に努めてまいりましたが、その基盤はメンバー同士の関わりの強さであり、その結束力を強固なものにする為にLOM内で元気溢れる交流を行う事は当委員会の例会、事業、大会等だけでなく、皆様とすべての事業に参加し時間を共有してこそ、生まれるものではないかと感じました。その意味もこめて積極的に参加して頂くにはアナウンスをしっかりと伝えること、そして個々にその思いを直接伝えることで新たに理解してもらえる事も多いと感じました。

ひとつの方向にメンバーを向けさせ共に活動する事の難しさを、身をもって感じた1年でした。自分が率先して活発な行動をしていかなければ周りを変えていく事は出来ない。まずは自分が元気溢れる姿を示し行動しなければならぬと感じました。皆様には本当に多くの学び、気づきを頂き充実した時間を与えて頂きました。この貴重な経験は何ごとにも代えられない物となりました。それも委員会メンバーはもとよりメンバーの方々、先輩の方々にご協力、思いやりを賜りました。心より感謝申し上げます。
ありがとうございました。

6. 収 支 決 算

収入の部				支出の部			
予 算		決 算		予 算		決 算	
事業費	205,000	事業費	204,230		30,000		29,230
					175,000		175,000
合 計	205,000	合 計	204,230	合 計	205,000	合 計	204,230